

# 進路だより

熊本市立桜山中学校  
第5号 令和5年5月19日  
文責 進路担当



桜山中ホームページへ

## 義務制ではない高校に行く、ということ

三者教育相談で、現時点では三年生のみんなが進学を希望していることが分かりました。進学をするということは、義務制ではない高校に行くということ、令和5年度の進路案内を読んでいるととても興味深い記事が出てきました。～P185より

### 中学時代に身につけてほしいこと

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 規範意識
- ・ 目標をもって日々努力をする習慣
- ・ コミュニケーション能力



### 最近の高校現場

(例1) 宿題が出せない、何度言っても出さない生徒の保護者に話をすると「うちの子は宿題が出せないんです。中学では夏の課題を出さなくても配慮してもらいました。高校でも配慮してください。」→小学校からそのまま上がってきた中学生ではない、入試をして、調査書に書かれていることを吟味して、「この点数を取ってこの調査書に書かれている生徒なら3年間やっていけるだろう」という選抜をしている。→宿題はやらしてもらわないと困る。

(例2) 朝の会が終わってから毎日登校(毎日遅刻)。保護者に話をすると「うちの子は頑張っている。中学校で配慮してもらっていた。文句を言わないでくれ」→???

義務制ではない高校とはどういうところなのか…

授業1コマ50分のうち、受けたのが30分未満の場合は欠課(その教科は欠席)、遅刻・早退・中抜け3回で欠課1時間、欠課が授業時数の1/5を超えると不合格で単位を取得できない。高校は、単位を取らないと進級(学年ごとに30単位)、卒業(80単位)ができない。必修科目を1つでも落としたら原級措置(留年)となる。

就学支援金制度の導入や少子化で全入に近い状態で、高校も義務教育の延長と感じているのではないだろうか。実業高校でも置かれている状況は変わらない。実業高校の中には、「自分や人の命に関わる資格」をとらせなければならない高校もある。「配慮」はするが単位取得、進級、資格取得に関しては配慮できない、という現状がある。

…これらの文は、すべて令和5年度の進路案内に記載されています。高校進学を希望するということ、もちろんそれは、自分の夢に向かって前進するということです。高校で学ぶ授業内容は、中学校で学ぶ授業の4倍といわれています。ということは、勉強時間も家庭学習の時間も中学校の時よりは多くなります。すごく大変だけどすごく楽しいところでもある高校。強い意志を持ち選択し進んでいってほしいです。

### Take it easy④

現在、サポート校のオープンスクールの案内チラシを何校分か配っています。ご覧になりましたか?この間来校されたサポート校の先生の話によると「今年度入学者の4割は、自分のペースで高校の学習ができるサポート校をあえて選んで来た生徒です。」とおっしゃいました。高校も多種多様。自分たちが経験した高校進学の時代とは違う。updateしなければならないと肝に銘じた次第です。